

公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/平成28年1月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2016
新年号



若葉区 青山雅紀 美浜区 伊藤康平 花見川区 川岸俊洋 花見川区 村尾伊佐夫 緑区 近藤千鶴子 中央区 森山和博 稲毛区 桜井秀夫 中央区 酒井伸二

本年も皆様のご期待に
全力でお応えして
まいります。
ご意見やご要望を
お寄せください。

住み続けたい・活きいきとした魅力あふれるまちづくりを!

公明党千葉市議会議員団「平成28年度予算編成に対する重点要望」を提出!

- 1 **財政健全化に向けた取り組みの強化。**
 - 税源の涵養等自主財源の確保や市税等の徴収率向上に向けた取り組みの強化。
 - 国民健康保険事業財政健全化への取り組みの強化。
- 2 **行財政改革への取り組みの強化。**
 - 民間活力の有効活用の推進。
 - 政策形成過程における女性の視点の活用および女性の管理職登用率の向上。
- 3 **防災対策の強化。**
 - 首都直下地震やゲリラ豪雨など危機事案への初動・対応体制の強化。
- 4 **2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた諸施策の拡充・強化。**
 - 競技会場都市として開催に向けた着実な準備の推進。
 - インバウンド施策の拡充・強化。
 - スポーツ・障がい者スポーツ振興等への取り組みの強化。
- 5 **安心・安全な市民生活に向けた諸施策の拡充。**
 - 空き家対策の推進および防犯対策強化に向けた防犯カメラの設置促進。
 - 自転車の安全利用に関する施策の拡充・強化。
- 6 **地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組み強化。**
 - 訪問診療および在宅医療・介護の連携推進、認知症対策等への取り組み強化。
- 7 **健康づくり施策の推進。**
 - がん対策の充実強化（ピロリ菌検査の導入等胃がん検診の充実および子宮頸がんHPV検査の導入）。
 - 市民の健康寿命延伸に向けた健康づくり支援事業の構築。
- 8 **障がい者・児支援施策の推進。**
 - 障害者差別解消法施行に伴う支援体制の整備推進。
 - 5歳児健診の導入を含めた発達障がい児への取り組み強化。
 - 市役所における授産製品およびサービスの優先的調達の推進。
- 9 **子ども・子育て支援事業の推進。**
 - 不育症・不妊症対策の充実強化。
 - 産前産後のケア体制の拡充および児童虐待、里親制度への取り組みの強化。
 - 子どもルームの対象年齢拡大に伴う待機児童解消ならびに放課後子ども教室と子どもルームの一体的な取り組みの推進。
- 10 **低炭素社会実現への積極的な取り組み。**
 - 事業所等に対する省エネルギー設備設置支援ならびに水素活用の促進強化。
 - 剪定枝等循環システムの全市的な展開。
- 11 **中小・小規模事業者に対する支援施策の拡充・強化。**
- 12 **企業の参入促進など地域農業活性化に向けた施策の拡充・強化。**
- 13 **都市の活性化に向けた取り組みの推進。**
 - 千葉中央港エリアのにぎわい創出や海辺の魅力を活かした施策の推進。
 - りんかい線・京葉線の相互直通運転実現に向けた取り組みの強化。
- 14 **道路の空洞化調査など道路施設の適正な維持管理に向けた取り組みの推進。**
- 15 **救急車の適正利用に関する取り組みの強化。**
- 16 **児童生徒の安全対策および青少年健全育成施策の強化・拡充。**
 - 学校施設における老朽化対策およびトイレ・空調等の環境整備の推進。
 - 通学路の安全対策やいじめ・不登校対策の強化。
 - 18歳選挙権導入に伴う主権者教育の推進。
 - 学校教育におけるタブレット端末の導入推進。
- 17 **両市立病院経営の改善など改革の推進強化。**

魅力・にぎわいアップ! 「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」が策定されます。

Topic

千葉都心では、JR千葉駅の建替え、千葉駅西口地区および東口地区で実施・計画されている再開発事業など、駅周辺でリニューアルの動きが出てきております。

本市として、この契機を捉え千葉都心全体の魅力を高めるまちづくりの方向性を指し示す必要があると考えます。これまで公明党市議団としては、駅の方面ごとにコンセプトを持ったまちづくりを推進すべきと訴えてまいりました。

活性化グランドデザイン策定にあたっては、千葉駅周辺の現状や価値・課題を明らかにし、活性化の方向性を示すとともに「エキナカ」だけに集客されることなく、歩行環境整備や回遊性の強化、公共空間等を活用したまちの賑わいづくり等を求めてまいります。



第4回 定例会・公明党市議団の代表質問から

千葉中央港エリアの賑わいづくりを!



千葉市の新たな海の玄関口として、千葉中央港エリアの港湾事業に取り組んできており、港湾の賑わいづくりや旅客船等の運行の見通しについて問いました。

市長より、「遊覧船『あるめりあ』が新たな棧橋に停泊し、年間を通してほぼ毎日、千葉めぐりや休祭日の幕張メッセ沖合遊覧を行う予定となっております」との答弁があり、さらに、高速ジェット船での伊豆大島への航路、レストランクルーズ、工場夜景クルーズの継続した運航について協議し、千葉港と都内との航路開設に努めていくとの意向が示されました。

不育症・不妊症対策の拡充を!

妊娠はするものの流産や死産を繰り返し、出産に至らない不育症は妊娠経験者の16人に1人の割合で見られますが、治療すれば8割が出産できると言われています。また、不妊症はその原因の半数近くが男性側にありながらも、不妊は女性の問題との認識も根強く、男性が治療を受けやすい環境整備が必要と考え取り組みを要望しました。



市長からは、不育症については不妊症と比べると認知が十分といえない状況のため、平成28年1月の成人式から啓発を図ることとし、不妊症については「平成28年度からは国の制度にとどまらず、男性を対象とした不妊治療費の助成を開始したい」との答弁がありました。

市営住宅の募集戸数の拡大を!



市営住宅では、応募倍率が高く入居が困難な団地がありますが、その一方で、極端に倍率の低い団地が存在し、空き家状態の住宅も大変多くあることを指摘しました。特に、その一因として、浴槽・風呂釜が未設置の団

地が多いことを問いました。

副市長からは、平成27年4月1日現在で募集可能な空き家が606戸あり、応募がなかった空き家の再募集や単身者の入居要件の緩和をするとともに、指摘を受けた浴槽・風呂釜の未設置が課題であることを認識し、それらを含めた住戸改善事業全体を進めていく旨の答弁がありました。



子どもルームの整備推進を!

子ども・子育て新制度の施行に伴い、受け入れ対象が全小学生となり、高学年ルームの整備推進に向けた今後の事業展開や、気象警報発令時等の対応について見解を求めました。

副市長より、「29年度までに6年生まで段階的に拡大をします。現在25校に設置しており、28年度中に合計52か所に開設いたします。高学年ルームは原則として、図書室を使用することとしており、現在図書室以外を使用している16ルームについても可能な限り変更を行ってまいります。気象警報発令時には、児童の安全を考え、学校と同様に、午前7時の段階で警報がでていれば、終日閉所としておりますが、午前9時に解除されれば11時に開所、午前11時に解除されれば午後1時から開所とする方向で検討してまいります」との答弁がありました。



花のあふれるまちづくりを!

緑や花の環境に恵まれている本市では花に関する施策が展開されておりますが、いまだその成果は十分に表れておりません。オリンピック・パラリンピックの開催を5年後に控え、これまでの取り組みと今後の施策について問いました。

副市長より、「花ひと会ちばの支援をはじめ、花いっぱい市民活動助成などの事業を展開しております。さらにJR千葉駅前や中心市街地などにおいて、市民・事業者などの協力を得ながら、積極的に取り組んでまいります。

また、東京オリンピック・パラリンピック会場となる幕張新都心において、オオガハスをはじめとするハスの名所づくりなど、内外にその名を広める取り組みを行ってまいります」との答弁がありました。



フラッシュ 救命率アップへ! — 救急棟オープン —

市立青葉病院では、救急医療の充実に向け、救急搬送患者の診療、応急処置などを行うスペースや診察室などを拡充し、救急患者受け入れ体制を強化するため救急棟を整備しました。

青葉病院の救急部門では、一刻を争う救急患者の診療を24時間365日体制で行っており、救急医3人が交代で各診療科の医師と協力して、年間約4,000台の救急車の受け入れを目指しております。これまで以上に短時間ですべての検査を終え診断することが可能となり、救命率アップが期待されます。



市政に関するご意見やご要望をお寄せください!